

三鷹市における地域住民との新規交流イベントの企画と実施

総合政策学部 木暮健太郎



三鷹市でのイベント

今回の地域活動における主な目的は、杏林大学に通う学生と三鷹市の住民との交流の場や機会を新たに創出することである。そこで今回のプロジェクトでは、三鷹市の「サードプレイス」を目指し、地域での交流イベントを定期的で開催する「TLS Group空間工房三鷹」の協力のもと、有志学生による地域交流イベントを実施した。具体的には、学生発案によるさまざまな企画（工作、焼き芋、ストラックアウトや謎解きゲーム）などを実施し、近隣地域の親子に参加してもらった。ゲストからは、大学生との交流は新鮮であったこと、毎年開催して欲しいといった意見を聞くことができた。

学生によるアイデア



有志学生によるアイデアの一つとして、ペットボトルを利用したランタン作りがあった。ゲストの子どもたちと大学生とが一緒にランタン作りを楽しむと同時に、普段では生まれにくいような世代間を超えたコミュニケーションが生まれていった。制作したランタンを大事に持ち帰る姿が印象的であった。

学生の感想

2年女子：初めての事ばかりで戸惑うことも多かったが、地域の方たちの力を借りて無事にイベントを終えることが出来た。参加してくれた子どもたちや親たちにとっても喜んでもらったことが印象的だった。これからも、自分たちでできることに取り組みながら、地域と大学との橋渡しをできれば嬉しいと思う。

活動を通じて

地域課題の解決においては、教室にいるだけではなく、実際にその地域に赴き、活動することが何よりも重要であることを改めて感じたプロジェクトであった。また学生が主体的に課題発見と解決に関わることを通じて、自らの学びを深め、学びのモチベーションを向上させることにも結び付くと感じている。今後もさまざまな地域で活動を継続させていきたい。

